



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月1日

上場会社名 オルガノ株式会社

上場取引所 東

コード番号 6368 URL <https://www.organo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内倉 昌樹

問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長 (氏名) 安藤 実

TEL 03-5635-5111

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	68,736	2.1	5,261	29.6	5,421	26.9	3,584	30.4
2020年3月期第3四半期	67,352	9.5	7,475	160.2	7,419	155.3	5,151	198.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 3,626百万円 (27.9%) 2020年3月期第3四半期 5,029百万円 (208.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	312.52	
2020年3月期第3四半期	450.41	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	108,616	63,335	58.2
2020年3月期	101,448	60,857	59.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 63,205百万円 2020年3月期 60,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		47.00		57.00	104.00
2021年3月期		52.00			
2021年3月期(予想)				52.00	104.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	3.6	7,200	27.3	7,100	28.5	4,700	34.4	409.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

本業績予想に織り込んでいる新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、現段階で想定できるものに限定しております。今後、状況に応じて適宜業績予想の修正を行ってまいります。詳細については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	11,589,925 株	2020年3月期	11,589,925 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	102,866 株	2020年3月期	136,593 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	11,468,057 株	2020年3月期3Q	11,436,336 株

当社は、役員向け株式交付信託を導入しており、当該信託が保有する当社株式を期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当連結会計年度の第3四半期(2020年4月1日～2020年12月31日)は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴い、国内・世界経済とも大きく混乱する中で推移いたしました。当社グループを取り巻く主要な市場の動向につきましては、電子産業分野においてテレワーク等の拡大や5G通信の本格化など半導体需要が高まる中、米国・中国による半導体摩擦の激化の影響もみられたものの、生産・投資については国内外とも高い水準で推移いたしました。一方、一般産業分野ではコロナ禍の影響で設備投資を抑制・延期する傾向が続き、一部の顧客では生産水準の落ち込みもみられたことから、水処理薬品やフィルター、食品加工材など機能商品の販売にも影響が出ております。電力・上下水分野については概ね前期並の水準で推移しており、大きな影響は生じておりません。

このような状況の下、当社グループは、国内外の移動の制限や自粛により、新規事業の展開や新たな顧客の開拓、海外の体制強化などの取り組みには影響が生じたものの、各種のコミュニケーションツールやICT技術を活用したエンジニアリングツールを導入するなどエンジニアリング・ソリューションサービスおよび管理業務のデジタル化を推し進め、感染拡大の防止と事業活動の両立に努めてまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、受注高72,075百万円(前年同期比11.2%減)、売上高68,736百万円(同2.1%増)となり、繰越受注残高は71,114百万円(同2.1%減)となりました。利益面につきましては、営業利益5,261百万円(同29.6%減)、経常利益5,421百万円(同26.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益3,584百万円(同30.4%減)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

[水処理エンジニアリング事業]

当事業におきましては、電子産業分野において、国内では大型案件の受注があった前期に比べプラント部門の受注高が減少したものの、前期に受注した大型案件の順調な工事進捗や、高い生産水準を背景としたソリューション部門の伸展により売上高は堅調に推移いたしました。また海外では台湾・中国を中心に半導体に対する大型投資が続いたことに加え、メンテナンス等のソリューションサービスも好調に推移し、受注高・売上高が大きく伸びました。一方、一般産業分野につきましては、コロナ禍により設備投資を延期・抑制する動きが続いていることから国内外でプラント部門を中心に受注高・売上高が減少しております。電力・上下水分野では上下水関連の大型案件の受注や電力関連のメンテナンス工事が順調に推移するなど概ね前期並の水準で推移しております。この結果、受注高58,254百万円(前年同期比13.5%減)、売上高55,169百万円(同3.3%増)となりました。一方、利益面につきましては電子産業分野を中心に比較的採算性の良い案件やコストダウン効果の大きかった案件の売上が集中した前期に比べ利益率が低下したことにより、営業利益4,364百万円(同32.4%減)となりました。

[機能商品事業]

当事業におきましては、年の後半にかけて若干の回復がみられつつあるものの、全般的に投資や生産の抑制がみられ、特にコロナ禍の影響を大きく受けた自動車や外食など一般産業や、検診や一般診療分野など医療機関向けの販売が減少しております。一方、高い水準での生産の推移がみられた電子産業向けの水処理薬品や、除菌・消臭用の微酸性電解水であるオルプラスの販売などが好調に推移した結果、受注高13,821百万円(前年同期比0.1%増)、売上高13,567百万円(同2.6%減)、営業利益897百万円(同11.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ7,168百万円増加し、108,616百万円となりました。これは主に、現金及び預金3,336百万円の減少に対し、受取手形及び売掛金6,145百万円、仕掛品を中心としたたな卸資産4,871百万円の増加によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ4,690百万円増加し、45,281百万円となりました。これは主に、その他の流動負債2,172百万円の減少に対し、短期借入金6,439百万円の増加によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ2,477百万円増加し、63,335百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金2,329百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響に加え、これまで好調に推移してきた電子産業分野における米中半導体摩擦の影響などが懸念される状況にあります。しかしながら、現段階では計画案件の大幅な延期や中止等の動きはみられておらず、国内外の受注済の案件についても順調に工事が進捗しております。このため、通期の業績予想につきましては、前回発表予想を据え置くことといたします。なお織り込んでいる影響は現時点で想定できるものに限られているため、状況に応じて適宜見通しの修正を行ってまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,772	10,436
受取手形及び売掛金	36,783	42,928
電子記録債権	1,590	1,758
リース投資資産	11,752	10,273
商品及び製品	5,710	6,122
仕掛品	2,728	7,209
原材料及び貯蔵品	1,392	1,370
その他	2,448	3,502
貸倒引当金	△98	△107
流動資産合計	76,078	83,494
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,909	17,751
減価償却累計額	△12,562	△12,730
建物及び構築物（純額）	5,347	5,020
機械装置及び運搬具	5,697	5,663
減価償却累計額	△4,974	△5,026
機械装置及び運搬具（純額）	722	637
土地	12,284	12,277
建設仮勘定	98	313
その他	5,088	5,117
減価償却累計額	△4,245	△4,363
その他（純額）	842	753
有形固定資産合計	19,296	19,002
無形固定資産	1,113	1,115
投資その他の資産		
投資有価証券	1,553	1,708
繰延税金資産	3,037	2,956
その他	780	745
貸倒引当金	△411	△406
投資その他の資産合計	4,959	5,004
固定資産合計	25,369	25,122
資産合計	101,448	108,616

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,381	12,464
電子記録債務	-	4,464
短期借入金	7,644	14,084
未払法人税等	1,959	990
前受金	1,543	1,885
賞与引当金	1,339	643
製品保証引当金	324	334
工事損失引当金	64	53
役員株式給付引当金	105	72
その他の引当金	10	-
その他	4,866	2,694
流動負債合計	32,240	37,687
固定負債		
長期借入金	2,095	1,545
繰延税金負債	9	0
退職給付に係る負債	6,153	5,971
その他	91	75
固定負債合計	8,349	7,593
負債合計	40,590	45,281
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,225	8,225
資本剰余金	7,508	7,508
利益剰余金	46,081	48,411
自己株式	△537	△432
株主資本合計	61,277	63,712
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	143	198
為替換算調整勘定	△178	△263
退職給付に係る調整累計額	△525	△442
その他の包括利益累計額合計	△560	△507
非支配株主持分	140	130
純資産合計	60,857	63,335
負債純資産合計	101,448	108,616

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	67,352	68,736
売上原価	47,490	51,174
売上総利益	19,861	17,562
販売費及び一般管理費	12,386	12,300
営業利益	7,475	5,261
営業外収益		
受取利息	30	22
受取配当金	26	25
受取保険金	23	100
持分法による投資利益	150	99
その他	47	35
営業外収益合計	278	283
営業外費用		
支払利息	104	86
為替差損	94	30
貸倒引当金繰入額	78	-
その他	56	6
営業外費用合計	334	123
経常利益	7,419	5,421
特別利益		
固定資産売却益	0	4
投資有価証券売却益	4	14
施設利用権売却益	0	-
特別利益合計	5	19
特別損失		
固定資産廃棄損	10	113
投資有価証券評価損	-	13
施設利用権売却損	-	4
施設利用権評価損	-	0
特別損失合計	10	131
税金等調整前四半期純利益	7,414	5,309
法人税等	2,270	1,721
四半期純利益	5,143	3,587
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,151	3,584

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	5,143	3,587
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18	55
繰延ヘッジ損益	0	-
為替換算調整勘定	△198	△99
退職給付に係る調整額	65	82
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△0
その他の包括利益合計	△113	38
四半期包括利益	5,029	3,626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,037	3,637
非支配株主に係る四半期包括利益	△7	△10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果になる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減したうえで、法定実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響について)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の影響について)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジ ニアリング 事業	機能商品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,425	13,926	67,352	—	67,352
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	249	250	△250	—
計	53,426	14,176	67,602	△250	67,352
セグメント利益	6,458	1,017	7,475	—	7,475

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	水処理エンジ ニアリング 事業	機能商品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	55,169	13,567	68,736	—	68,736
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	247	248	△248	—
計	55,169	13,814	68,984	△248	68,736
セグメント利益	4,364	897	5,261	—	5,261

(注) セグメント利益は、営業利益ベースの数値であり、四半期連結損益計算書の営業利益との間に差異はありません。